

松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2017 入選プラン一覧

ビジネス活用部門

氏名・団体名 (応募順・敬称略)	ビジネスプランの名称	ビジネスプランの概要
藤村上	発掘ロボ ドンダラー(PCゲーム)	<p>広告収益型のビジネスプランである。島根をPRするPC用フリーゲームを製作する。島根県内の企業にスポンサーになってもらいそのスポンサーをゲーム内で宣伝する。そのプレイ動画をYouTube等に動画サイトにあげてもらふ。そのプレイ動画を見てもらうことによって広告とする。</p>
錦 良成	ルビーが見える～ Ruby City MATSUEでルビー採掘～	<p>松江市民に対するRubyの見え方を大きく変えることでRubyそのものへの市民参加のあり方に変革をもたらすプロジェクト。また、Ruby Cityの観光資源的価値を探る試みでもある。</p>
灰示花火 × TEAM L.A.M.P.	打ち上げ花火と連携させたLEDライトアップシステムを活用したスタートアップ企画	<p>松江のオープンソースRubyを活用したLEDライトアップシステムと打ち上げ花火を連携させた、新しい花火イベントの企画を実施し、来場者情報をビッグデータでの分析検証し効果測定を行います。                      具体的には、昨年起業したばかりの島根県内唯一の花火会社『灰示(ハイジ)花火』が自治体や観光協会に対して、打ち上げ花火のオプション商品として、観覧者のスマートフォンから会場のLEDランプを操作し打ち上げに参加出来るシステムを提供を行うというもの。                      なお、システムは、Ruby 言語で開発を行う。                      企画実施に合わせて、内閣府提供のRESAS のデータを元に来場者分析や、地域のイベント連携などで活用することで効果測定を実施し、今後PDCA を回す。</p>
佐藤 公治	こども見守りシューズ「MITUKERU」	<p>子どもに対する凶悪犯罪が増し、安全に対する不安は大きくなっています。                      位置情報を携帯ネットワークで送信し、親に安心を届けるデバイス及びサービスを提供します。                      端末を販売し、保護者・幼稚園や小学校を設置する学校法人などから対価を得るプランです。</p>

松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2017 入選プラン一覧

学生部門

氏名・団体名 (応募順・敬称略)	ビジネスプランの名称	ビジネスプランの概要
Wake up, boys! (松江工業高等専門学校)	Ringing break	<p>予め設定した時刻になるとアラームを鳴らし、パンチングマシーンを模した目覚まし時計本体を殴ることによりアラームを停止させる目覚まし時計。アラームと、殴るという行為によって利用者の目及び脳を完全に覚まし、同時にストレス、運動不足の解消の手助けをすることで健康的な起床を促す。</p>
PENTIENT (松江工業高等専門学校)	PENTIENT —患者と看護師のための簡易システム—	<p>病院を対象に、ペンとアプリを連動させたシステムです。ペンに内蔵されている「温度センサ」と「脈派測定センサ」で体温、脈拍を測定することができます。測定したデータはデータ送信チップで専用のアプリに送信され、患者一人ひとりのデータを管理することができます。患者は、カルテを書くと同時に、体温と脈拍を計る、という三つの動作を一度に行うことができます。また、看護師は患者一人ひとりの容体をチェックする手間が省け、専用のアプリで患者のデータを速く、簡単に確認することができます。</p>
Ru Beginners (松江工業高等専門学校)	Ru Beginning (ルビーギニング)	<p>「PCはないけれどプログラミングはしたい」という人のために、スマートフォンでのプログラミングを可能にするアプリケーションです。開発環境の設定は必要なく、アプリケーションを入れるだけでRubyを始めることができます。また、関数の検索ができるため、初心者でもソースコードが書きやすいようになっています。そして、ソースコードの公開、共有、検索もできるため、よりプログラミングの知識を広げることができます。</p>
スマホでメニュー (松江総合ビジネスカレッジ)	スマホでメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミレスなどの1店舗の規模が大きいチェーン店             <ul style="list-style-type: none"> <li>→スマホ用メニューを作成し、人件費の削減や作業の効率化を図る</li> </ul> </li> <li>・スムーズに食事を楽しみたい利用者             <ul style="list-style-type: none"> <li>→スマホ用メニューを利用し、スマホからメニューの注文を可能にする</li> </ul> </li> </ul>